

第53回 中部日本フィギュアスケート選手権大会(中日カップ)

要項 (案)

- 1 主催 長野・岐阜・山梨・新潟・富山・石川・福井・静岡・愛知各県スケート連盟
中日新聞社
- 2 主管 愛知県スケート連盟
- 3 後援 愛知・石川・岐阜・静岡・長野・新潟・福井・山梨 各県教育委員会
岐阜県・富山県・三重県
愛知・石川・岐阜・静岡・富山・長野・新潟・福井・三重・山梨
各県公益財団法人体育協会 名古屋市教育委員会
公益財団法人名古屋市教育スポーツ協会 公益財団法人日本スケート連盟
- 4 期日 平成 29(2017)年2月8日(水)～12 日(日)
- 5 会場 日本ガイシスポーツプラザ ガイシアリーナ アイスリンク(屋内人工 60m×30m)
〒457-0833 名古屋市南区東又兵衛町5 丁目1 番地の5
TEL 052-614-6211 FAX 052-614-6215
- 6 日程 2月 8日(水) 練習、開会式
2月 9日(木) 練習、2級 3級
2月10日(金) 練習、4級 ノービスB、ジュニア選手権SP
2月11日(土) 初級、1級、5級、選手権SP
2月12日(日) ノービスA、ジュニア選手権FS、選手権FS、表彰式、閉会式
※日程は予定です。参加人数により、変更になる場合があります。
- 7 競技種目 シングル・スケーティング(男子・女子)
ペア・スケーティング
- 8 競技課題 別記のとおり
- 9 競技規程 2016年～2017年ISU及び日本スケート連盟競技規程による
- 10 参加資格 申込締切日において、次の①～③のいずれも満たしている者。または④、⑤のいずれかであること。
①公益財団法人日本スケート連盟登録競技者(初級以下の者を除く)
②主催県連に登録しているクラブに所属している者
③出場するクラスのFDテスト級を有する者
④主管県が出場を認めた者
⑤外国連盟所属の選手は、各出場クラスと同等の技能を有していること。
外国連盟とは、国際スケート連盟(ISU)加盟国および、アジアスケート連盟(ASU)加盟国を指す。
⑥7級以上の者で、1997年7月1日以降2003年6月30日までに出生した者は、選手権クラス、またはジュニア選手権クラスのどちらかのクラスを選択して申し込むことができる。ただし申し込み後の変更は認めない。
⑦ペアは、シニア、ジュニア、ノービスのいずれかのクラスを選択。
- 11 表彰 各クラス1 位～3 位の入賞者に賞状とメダルを授与する。
上記に加え、当該クラスの参加者が9 名～15 名の場合は4 位～6 位に賞状を授与し、16 名以上の場合は4 位～8 位に賞状を授与する。
選手権およびジュニア選手権の男女各1 位に優勝杯を授与する。
- 12 参加料 選手権・ジュニア選手権 1名 12,000 円
その他のクラス 1名 10,000 円
ただし、外国連盟所属の選手は、各出場クラスとも1名 5,000 円

- 13 負担金 主催各県連盟は、負担金30,000 円を参加料振込先へ振り込むこと。
- 14 申込方法 参加申込日本スケート連盟ホームページ「競技会オンライン申込サイト」
<https://www.skatingjapan.jp/myac> により**申し込みと予定要素を入力する**。日本スケート連盟登録者でなく、オンライン申し込みができない場合は各クラブ担当者を通して申込みする。
各クラブ担当者は別紙の様式を使用し期日までに大会事務局まで連絡すること。
参加料は各クラブでまとめて、クラブ名で下記の口座へ振り込むこと。
◎申込書送付先
【メールにてお問い合わせください】
e-mail での申込先 asufsp@yahoo.co.jp
◎参加料振込先口座
中京銀行 大江支店 普通 1116863 愛知県スケート連盟フィギュア競技部
- 15 申込期間 平成28(2016)年12月16日(金)～平成 29(2017)年1月10日(火)
- 16 音楽CD、MDに限る
・CD・MDはID=1の曲を再生するため、必ずCD・MDの1曲目として録音してあること。
・各自で予備のCD・MDも持参し、直ちに提出できる状態にしておくこと。
・出場クラス・氏名・所属を明記して提出すること。
- 17 宿泊 各自で手配して下さい。
- 18 その他
①競技中の負傷等については応急処置をおこないますが、その責任は負いません。
②中学生以下の参加者は各県連盟の責任で保護者の同意書を取得しておくこと。
③観客席入場無料
④問い合わせ先 愛知県スケート連盟フィギュア委員長 久野千嘉子
e-mail: asufsp@yahoo.co.jp
⑤アジアスケート連盟加盟国へ大会要項および参加の案内が送付されます。
⑥三笠宮賜杯で他県の役員1名の立ち合いのもと事前に抽選をいたします。
滑走順の結果は日本スケート連盟のホームページで掲載いたします。

【 競 技 課 題 】

シングル・スケートイング

性別	クラス	参加資格		時間	課題
男子	選手権	7級以上	2016年7月1日以前に15才に達している者	2分40秒±10秒 4分30秒±10秒	I S Uシニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートイング
	ジュニア選手権	5級以上	1997年7月1日～2003年6月30日の間に出生した者。	2分40秒±10秒 4分±10秒	I S Uジュニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートイング
	ノービスA	4級以上 (見込み級を含む)	2003年7月1日～2008年6月30日の間に出生した者。(来シーズン年齢を含む)	3分30秒	(財)日本スケート連盟 全日本ノービスA課題
	ノービスB	3級以上 (見込み級を含む)	2005年7月1日～2008年6月30日の間に出生した者。(来シーズン年齢を含む)	3分±10秒	(財)日本スケート連盟 全日本ノービスB課題
	4級クラス	4級		3分30秒±10秒	(財)日本スケート連盟 全日本ノービスA課題
	3級クラス	3級		3分±10秒	(財)日本スケート連盟 全日本ノービスB課題
	2級クラス	2級		2分±10秒	別記1
	1級クラス	1級		1分±10秒	別記2
	初級クラス	初級		1分±10秒	別記3

性別	クラス	参加資格		時間	課題
女子	選手権	7級以上	2016年7月1日以前に15才に達している者	2分40秒±10秒 4分±10秒	I S Uシニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートイング
	ジュニア選手権	6級以上	1997年7月1日～2003年6月30日の間に出生した者。	2分40秒±10秒 3分30秒±10秒	I S Uジュニア課題 ショート・プログラム フリー・スケートイング
	ノービスA	6級以上 (見込み級を含む)	2003年7月1日～2008年6月30日の間に出生した者。(来シーズン年齢を含む)	3分±10秒	(財)日本スケート連盟 全日本ノービスA課題
	ノービスB	5級以上 (見込み級を含む)	2005年7月1日～2008年6月30日の間に出生した者。(来シーズン年齢を含む)	2分30秒±10秒	(財)日本スケート連盟 全日本ノービスB課題
	5級クラス	5級		3分30秒±10秒	I S Uジュニア課題 フリー・スケートイング
	4級クラス	4級		3分±10秒	(財)日本スケート連盟 全日本ノービスA課題
	3級クラス	3級		2分30秒±10秒	(財)日本スケート連盟 全日本ノービスB課題
	2級クラス	2級		2分±10秒	別記4
	1級クラス	1級		1分±10秒	別記5
初級クラス	初級以下		1分±10秒	別記6	

ペア・スケートイング

	自由選択				フリー・スケートイング
--	------	--	--	--	-------------

※選手権、ジュニア選手権のフリーはショート・プログラムの上位24名で行う

競技課題の内容(No.1)

ショートプログラム 必須要素

シニア・シングル 滑走時間 2分40秒±10秒

	男子	女子
a)アクセル系のジャンプ	ダブルまたはトリプル・アクセル	
b)単独ジャンプ	トリプルまたはクワド・ジャンプ	トリプル・ジャンプ
	コネクティング・ステップあるいはフリー・スケーティング動作より直ちに行う	
c)ジャンプ・コンビネーション	2+3、3+3、2+4、3+4	2+3、3+3
	ソロ・ジャンプと異なる種類	
d)フライング・スピン	あらゆるタイプのフライング・スピン	
	着氷後 最少 8 回転	
e)スピン	足換え 1 回の キャメルまたはシット フライング・スピンのランディングポジ ションとは異なるもの 各足 6 回転(合計 12 回転)	レイバックまたは サイドウエイズ・リーニングスピン あるいは 足換え無しのシット/キャメル・スピン 8 回転(規定の姿勢で)
	足換え 1 回のみ、少なくとも 2 種類の基本姿勢 各足最少 6 回転(合計 12 回転)	
f)スピン・コンビネーション	足換え 1 回のみ、少なくとも 2 種類の基本姿勢 各足最少 6 回転(合計 12 回転)	
g)ステップ	氷面を十分に活用したステップ・シーケンス	

※ ポジションと認められるためには2回転が必要。

ジュニア選手権(2016-2017)

滑走時間 2分40秒±10秒

	男子	女子
a)アクセル系のジャンプ	ダブルまたはトリプル・アクセル	ダブル・アクセル
b)単独ジャンプ	ダブルまたはトリプル・ループ	
	コネクティング・ステップあるいはフリー・スケーティング動作より直ちに行う	
c)ジャンプ・コンビネーション	2+3、3+3	2+2、2+3、3+3
	ソロ・ジャンプと異なる種類	
d)フライング・スピン	フライング・キャメル・スピン	
	空中姿勢と同じ姿勢	
	着氷後 最少 8 回転	
e)スピン	足換え 1 回の シット・スピン 各足 6 回転(合計 12 回転)	レイバックまたは サイドウエイズ・リーニングスピン あるいは 足換え無しのシット・スピン 8 回転(規定の姿勢で)
	足換え 1 回のみ、少なくとも 2 種類の基本姿勢 各足最少 6 回転(合計 12 回転)	
f)スピン・コンビネーション	足換え 1 回のみ、少なくとも 2 種類の基本姿勢 各足最少 6 回転(合計 12 回転)	
g)ステップ	氷面を十分に活用したステップ・シーケンス	

※ ポジションと認められるためには2回転が必要。

競技課題の内容(No.2)

ノービス A プログラム

演技時間 男子 3 分 30 秒 女子 3 分(±10 秒間)

	男子	女子
ジャンプ	最大7個	最大6個
	第一ジャンプとして、アクセル系ジャンプ、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの3種類を含む	
	ただし、アクセル系ジャンプは (単独でも、コンビネーションあるいはシークエンスの一部としても)2回まで	
	ダブル・アクセル、トリプル、クワドの2種類のみ、 コンビネーションあるいは、シークエンスで繰り返し可能 単独として繰り返された場合には+REP が付く	
	ジャンプ・コンビネーション、ジャンプ・シークエンスは3つまで可能	
	ジャンプ・コンビネーションのうち 1 つだけ3個のジャンプ可能	
スピン ※	異なった種類 3	
	フライング・スピン 足換え無し 姿勢変更無し 最小6回転	
	キャメルまたはシット・スピン フライング・スピンのランディング・ ポジションとは異なるもの。 足換えの回数は任意	レイバックまたは サイドウエイズ・リーニングスピン あるいは 足換え無しのシット/キャメル・スピン
	フライングの入りは不可、最少6回転(男子のみ足換えの場合には最小 10 回転以上) フライング・スピンと異なるベーシック・ポジションで行うこと	
	スピン・コンビネーション 足換えは任意 最小 10 回転	
ステップ	氷面を十分に使用したステップ・シークエンス	

※ ポジションと認めてもらうには 2 回転以上必要

ノービスBプログラム

演技時間 男子 3 分 女子2分30秒(±10 秒間)

	男子	女子
ジャンプ	最大6個	最大5個
	第一ジャンプとして、アクセル系ジャンプ、ルッツ・ジャンプ、フリップ・ジャンプの3種類を含む	
	ただし、アクセル系ジャンプは (単独でも、コンビネーションあるいはシークエンスの一部としても)2回まで	
	ダブル・アクセル、トリプル、クワドの2種類のみ、 コンビネーションあるいは、シークエンスで繰り返し可能 単独として繰り返された場合には+REP が付く	
	ジャンプ・コンビネーション、ジャンプ・シークエンスは2つまで可能	
	ジャンプ・コンビネーションのうち 1 つだけ3個のジャンプ可能	
スピン ※	異なった種類 3	
	フライング・スピン 足換え無し 姿勢変更無し 最小6回転	
	キャメルまたはシット・スピン フライング・スピンのランディング・ ポジションとは異なるもの。 足換えの回数は任意	レイバックまたは サイドウエイズ・リーニングスピン あるいは 足換え無しのシット/キャメル・スピン
	フライングの入りは不可、最少6回転(男子のみ足換えの場合には最小 10 回転以上) フライング・スピンと異なるベーシック・ポジションで行うこと	
	スピン・コンビネーション 足換えは任意 最小 10 回転	
ステップ	コレオグラフィック・シークエンス	
	形状には制限が無いが、明らかにそれと分かるもの レベルはフィックス、GOEのみで評価される	
	—	少なくとも1つ支持なしのスパイラル 3秒以上の長さが必要

※ ポジションと認めてもらうには 2 回転以上必要

競技課題の内容(No.3)

【別記 1】 2級クラス 男子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.8(全 PC 共通) 転倒:-0.2

(演技時間 2 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4個

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを 2 回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった 4 種類を含むこと。(回転数が異なっても同じ種類とする)

内 1 つはアクセル型ジャンプでなければならない。但し、同じ種類のジャンプは2個まで(回転数が異なっても同じ種類とする)

b) スピン要素 異なった 2 種類を 2 個 (レベルは認定)

1 つは1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)

1 つはスピン・コンビネーションのスピンの(足換えが無い場合は5回転以上、足換えがある場合は、合計 10 回転以上)

c) ステップ要素 ステップ・シークエンス 最大レベル 1 で評価をする。

氷面を十分に使用したステップ・シークエンス

【別記 2】 1 級クラス 男子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.5(全 PC 共通) 転倒:-0.2

(演技時間 1 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを 1 回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった 4 種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ可

b) スピン要素 最大 1 個

1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)レベルBで評価する。

c) ステップ要素 ステップ・シークエンス 最大レベル B で評価をする。

シークエンスの長さは 1/2 以上で認定する。

【別記 3】 初級クラス 男子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.2(全 PC 共通) 転倒:-0.2

(演技時間 1 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを 1 回含むことが出来る。第一ジャンプは異なった 4 種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ可

b) スピン要素 最大 1 個

1ポジションのスピンの(基本姿勢で5回転以上)レベルBで評価する。

【別記 4】 2級クラス 女子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.8(全 PC 共通) 転倒: -0.2

(演技時間 2 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4個

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを 2 回含むことができる。第一ジャンプは異なった 4 種類を含むこと。(回転数が異なっても同じ種類とする)

内 1 つはアクセル型ジャンプでなければならない。但し、同じ種類のジャンプは2個まで(回転数が異なっても同じ種類とする)

b) スピン要素 異なった 2 種類を 2 個 (レベルは認定)

1 つは1ポジションのスピンの基本姿勢で5回転以上)

1 つはスピン・コンビネーションのスピンの足換えが無い場合は5回転以上、足換えがある場合は、合計 10 回転以上)

c) ステップ要素 ステップ・シークエンス 最大レベル 1 で評価をする。

氷面を十分に使用したステップ・シークエンス

【別記 5】 1 級クラス 女子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.5(全 PC 共通) 転倒: -0.2

(演技時間 1 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを 1 回含むことができる。第一ジャンプは異なった 4 種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ不可

b) スピン要素 最大 1 個

1ポジションのスピンの基本姿勢で5回転以上)最大レベル 1 で評価する。

c) ステップ要素 ステップ・シークエンス 最大レベル B で評価をする。

シークエンスの長さは 1/2 以上で認定をする。

【別記 6】 初級以下クラス 女子 PCS(SS, PE, IN) ファクター:1.2(全 PC 共通) 転倒: -0.2

(演技時間 1 分±10 秒)

バランスの良いフリー・プログラムに含まれる要素

a) ジャンプ要素 最大4

ジャンプ2個で構成されるジャンプ・コンビネーションまたはジャンプ・シークエンスを 1 回含むことができる。第一ジャンプは異なった 4 種類(回転数が異なっても同じ種類とする)

ワルツ・ジャンプ可

b) スピン要素 最大 1 個

1ポジションのスピンの基本姿勢で5回転以上)レベルBで評価する。

競技課題の内容(No.4)

シングル・スケートイング

【フリー・スケートイングの減点について】

- ①転倒は1回につき1.0減点される。但し、ノービス課題は0.5、2級以下のクラスの減点は0.2点とする。
- ②滑走時間の過不足は規定時間の過不足5秒ごとに1.0が減点される。

その他

- ※1 規定されている最大ジャンプ数のうち、第一ジャンプが重複したものは無価値となる。
(2級以下クラス)
- ※2 スピンと認められるには3回転以上が必要、3回転未満は無価値となる。
- ※3 ジャンプでは必要回転数に1/4回転よりは大きい、1/2回転未満の場合はUnder-rotated “<”、
1/2回転以上の場合にはDowngraded “<<”となる。
- ※4 シングル・アクセル・ジャンプのダウングレードは無価値となる。(ワルツジャンプとは異なる)
- ※5 プログラム・コンポーネントの係数(ノービスクラス)
男子は2.0、女子1.6
- ※6 初級・1級・2級クラスにおいては、後半に開始されるジャンプ要素の基礎値(GOEの値ではない)に対する1.1倍は考慮しない。
- ※7 シングル・スケートイングのショート・プログラムにおいて、後半に開始されるジャンプ要素の基礎値(GOEの値ではない)は特別に1.1倍される。

日本スケート連盟ノービス競技会における演技中断の減点

ISU コミュニケーション第1817号(演技の中断)の発表を受け、日本スケート連盟ノービス競技会における演技の中断による減点を以下のようにする。

プログラムの中断が起こった場合には、レフェリーは10秒毎に0.5を減点する。

例えば 11秒～20秒 0.5 21秒～30秒 1.0

競技者がレフェリーに中断を要求せず、事態を40秒以内に解消した場合

上記の中断を適用し、40秒を超えた場合は棄権となる。

レフェリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合は、レフェリーは中断全体に対し2.5を減点する。

2級以下ロークラスにおける演技中断の減点

プログラムの中断が起こった場合には、レフリーは10秒毎に0.2を減点する。

レフリーに40秒以内に最長3分間の中断を要求した場合は、レフリーは中断全体に対し1.0を減点する。

採点システムにおいては転倒減点を使用して成績処理をします。